

やすらぎ

医療法人社団 芙蓉会
ふよう病院
千葉芙蓉病院
きゃらの樹ケアセンター

芙蓉会社内報

令和2年8月号



芙蓉会

理事長挨拶

医療法人社団 芙蓉会 理事長 四ヶ所 大

梅雨が明けてホッとしたのも束の間、連日の猛暑に体調維持が難しい季節になりました。コロナ禍の状況下で、心身共に更に疲弊しそうな毎日です。

私が数年前に勉強した経営塾のメンバーで、ブログ更新の度（月1回）にメールを送ってくださる方がおり、多岐にわたる内容に触れる度に、毎回豊富な知識力に感心しております。7月の題目は「循環型経済への移行」という内容。循環型経済とは「有限な資源を効率的に利用すると同時に再生産を行い、持続可能な形で循環させながら利用していく社会のこと」（英語では、サーキュラーエコノミー）。地球規模で取り組まなければならない環境問題を引き合いに、考えさせられながら拝見しました。

コロナ関連の報道が続き、アフターコロナという表現から、最近ではウィズコロナと目にする機会が増えております。特に緊急事態宣言解除後の感染者数を見る度に、経済活性化も理解できますが、仕事柄、人命に勝るものは無いと考えてしまいます。とにもかくにもワクチンの普及が待たれるところです。

前回、この誌面でも生活や仕事のスタイルが



変化したと書きましたが、環境問題に真剣に取り組む好機ではないかと思えます。リサイクルの強化により、廃棄物を減少し再利用する。世界各国での取り組み方には温度差があるようですが、次世代を担う若者達へ、今の大人が最優先で対応しなければならない課題ではないでしょうか。もともとマスク着用の習慣がなかった国々でさえ、今回のコロナ発生によりマスク着用が当たり前になっている事を考えれば、リサイクル強化による環境問題の改善も実現できると希望を持ちたいところです。

7月下旬より東京都町田市で運営する施設・事業所において、施設毎に形を変えた面会を実施いたしました。今後の詳細は、当法人ホームページにてご確認ください。

「老人は国の宝」

医療法人社団 芙蓉会 (事業所一覧)

- ・ふよう病院
- ・ふよう病院介護医療院
- ・芙蓉ミオ・ファミリア町田
- ・グループホームあおぞら
- ・デイサービスふれあいルーム
- ・千葉芙蓉病院
- ・きゃらの樹ケアセンター
- ・千葉芙蓉ハーモニー
- ・千葉芙蓉ステーション



当法人では、毎年8月1日の創立記念日に合わせて、勤続5年10年20年30年の職員に対して永年勤続表彰を行っております。加えて2年前より、勤務成績優秀な職員に対する表彰制度を導入し、表彰者の増加に合わせて表彰式をホテルの150名規模の宴会場を借りて実施してきました。今年度は合計57名が対象者となりましたが、残念ながらコロナ禍でこれまでの会場で

の表彰式は行うことができず、会議室にて5グループに分けての表彰式となりました。理事長と院長より、「ご受賞おめでとうございます。皆様は当法人の中で中核を担う方達であり、日頃のご活躍に感謝しますとともに、これからも法人の運営にご協力ください。」と、賞状と金一封が贈られました。



永年勤続表彰者



優秀表彰者

面会の一時的再開

昨年末より、インフルエンザ予防の為、面会を中止させていただいておりました。インフルエンザの季節が終わりを迎える前に新型コロナウイルスが流行しはじめ、面会の機会を失った状態が長く続いてしまいました。

患者様も御家族の皆様も、寂しいお気持ちやご心配があたりだろう推察しておりました。何とか面会の機会を設けたいと院内職員が話し合い、予約制という形で実現いたしました。

7月の13日～22日の平日のみ、お一人の

患者様にご家族お二人までという制約の中、体温測定・マスク・フェイスシールド・透明パーテーション等を使用しての面会でしたが、皆様、喜んでくださいました。ご理解いただきありがとうございます。

ご高齢の方々を守るには、これからもコロナウイルスの感染対策が不可欠です。以前のようにご面会いただくのは難しいと思いますが、また面会の機会を設けるよう、考えてまいります。



台風に向けて

昨年の台風 15 号による停電で当施設は大きな被害を受けました。自家発電機は動かなくなってしまい、千葉県補助が決定し入れ替えの予定ですが、その後の全国的な水害により、同じく発電機を失った事業所が多く、メーカーの生産が間に合わない状況です。そこで、当法人ではご利用者の危機やご不便をできるだけ回避す

るため、ポータブル発電機を大量に購入しました。

9月1日の防災の日はそのポータブル発電機が専任者以外の誰でも使えるよう訓練を行いました。また、停電復旧後のボイラー、空調機器の復旧のしかたも学び予期せぬ非常事態に対応しております。

